

平成29年11月 8日

関係各位

網走地区サッカー協会

審判委員会 委員長 名和 肅男

～フットサルシーズンを迎えるにあたって

2017年フットサル競技規則の注意点について～

さて、今年度のフットサルシーズンを迎えるにあたって、フットサル競技規則の注意点について以下にお知らせ致します。

特に、今年度においては昨年度から今年度にかけてサッカー競技規則において全面的な改正、加筆、及び、文章の明文化等で多岐にわたって内容が改訂された一方で、フットサル競技規則においては現時点では特段、同様な改正内容は通達されておらず、改正はされておられません。

そのような中で、選手、審判員、並びに、チーム関係者（監督、コーチ）等が改正内容においてサッカー競技規則とフットサル競技規則を一部、混同して解釈している状況が見受けられ、今後において更なる混乱を避ける為にも、現在、見受けられた点について以下に注意点としてお知らせ致しますので、今一度、御留意頂くように宜しく御願い致します。

なお、その他の競技規則においても様々な点においてサッカーとフットサルとは異なる競技規則内容の箇所がありますので、サッカー、及び、フットサル、各々の競技規則を十分、理解した上で選手、審判員、チーム関係者（監督、コーチ）等として御指導、御対応を御願い致します。

御不明、御質問がありましたら当審判委員会までお問合せ下さい。

何卒宜しく御願い申し上げます。

記

●2016／2017版フットサル競技規則

⇒33ページ目

◎第8条【プレーの開始および再開】

★一部分のみの文章を抜粋★

- ・すべての競技者は、ピッチの味方半分内にいなければならない。
- ・ボールは、けられて前方に移動したときインプレーとなる。
- ・キックオフからは、直接得点することができない。

●2017／18版サッカー競技規則

⇒79ページ目

◎第8条【プレーの開始および再開】

★一部分のみの文章を抜粋★

- ・キックオフを行う競技者を除いて、すべての競技者はフィールドの自分たちのハーフ内にいなければならない。
- ・ボールは、けられて明らかに動いたときインプレーとなる。
- ・キックオフから相手競技者のゴールに直接入れて得点することができる。・・・後ろ文章割愛

●解説

- ①サッカーではキックオフを行う（蹴る）競技者だけは相手競技者のピッチにいる（立つ）ことが出来るが、フットサルではキックオフを行う（蹴る）競技者も自陣のピッチにいないといけない。
- ②サッカーではどの方向でも（前方、後方、左右、斜めのいずれの方向でも）蹴られて明らかに動けばインプレーとなるが、フットサルでは蹴られて前方に動かない限りインプレーとはならない。（後方又は左右に蹴られた場合はキックオフのやり直し）
- ③サッカーではキックオフから直接蹴って相手ゴールに入れて得点することが出来るが、フットサルではキックオフから直接蹴って相手ゴールに入れても得点とはならない。（直接入った場合は相手のゴールクリアランスで再開）

以上